

第 5 回 2018 年 9 月 12 日 (水)

第 5 回の一류塾では、講師に岩田彰一郎氏（アスクル㈱代表取締役社長兼 CEO）と第 1 期 OB 生でもある神野吾郎氏（㈱サーラコーポレーション代表取締役社長、豊橋商工会議所会頭）を、懇親会の特別ゲストには小池百合子氏（東京都知事、元衆議院議員、元環境大臣・防衛大臣、自由民主党 元総務会長）をお迎えしました。また、懇親会には一流塾特別顧問の福川伸次氏（(一財)地球産業文化研究所顧問、東洋大学理事長、元通商産業事務次官）、同じく特別顧問の斉藤惇氏（(一社)日本野球機構会長 日本プロフェッショナル野球組織コミッショナー、㈱KKR ジャパン KKR Global Institute シニアフェロー、前㈱日本取引所グループ 取締役兼代表執行役グループ CEO）並びに一流塾顧問の渡邊五郎氏（元三井物産㈱副社長）にもご出席頂きました。



【講師 岩田氏】

第 1 部では、『アスクルのイノベーション』と題して岩田氏が講義を行いました。講義の冒頭、高度なデジタル化による産業革命がもたらす市場環境の変化と大きな経営課題に触れ、物流・配送などで実践しているイノベーションについてご説明頂きました。中盤では、BtoB での圧倒的 No1 の地位にありながら BtoC 事業へ参入した決断の背景や他社にビッグデータを開放したオープンイノベーションの推進（メーカーとの共創）、コンシューマブランドの創生などのアスクルの EC 革命についてご紹介頂きました。最後には、「企業経営に求められるもの」や「経営者として大事にしていること」について塾生に語って頂きました。塾生からは、「グローバルに激変する環境の中で、先見性を持って前進・挑戦の決断を下してきた勇気とリーダーシップに感銘を受けた」「無から有を生むには意志しかない」というお言葉に明確なビジョンの重要性を再認識した」「同志を作り、人を巻き込み、社会を動かす、これこそがトップの役割だと感じた」といった感想が寄せられました。

第 2 部では、『地域の企業経営において大切なこと』と題して神野氏が講義を行いました。講義の前半で、神野氏は自社の歴史と地域特性に触れ、グローバルな視点を取り入れて、「地域」「産業」「分野」の枠を超えた広域連携によるポテンシャルの最大化というビジョンを語られました。後半では、グループが多角化展開し、「地域とともに」成長してきた具体例や、バランススコアカードを用いたグループマネジメントなどについてご紹介頂きました。そして終盤には、地域価値向上が企業価値向上につながると、地域経済の中心的な役割を担う神野氏ならではの想いを語って頂きました。塾生からは、「地域の発展と企業の成長を結び付ける考え方を自社の経営にも参考にしたい」「地方創生のど真ん中で明確なビジョンを持って経営されていることに感銘を受けた」「関わったことにベストを尽くすという信条が今の結果であるとの言葉に、自分もそうありたいと感じた」といった声があがりました。



【講師 神野氏】

懇親会では、一柳塾長による開会の挨拶ならびに、福川氏による乾杯の後、特別ゲストの小池氏から、『東京オリンピックと東京大改革』と題して卓話を頂きました。小池氏からは、都民ファーストの視点で進めている東京大改革とオリンピック・パラリンピックへの取組みを関連づけて具体的事例を挙げてご紹介頂きました。そして、「人」に焦点を当てて東京に活力を生み出す都政を展開していくと語られました。また、北京や深圳の例を挙げながら、東京からもベンチャー企業を数多く創出していきたい、皆さんも大いにチャレンジしてくださいと塾生を激励されました。

卓話の後には、斉藤惇氏からもお言葉を頂き、その後、講師・ゲストと塾生との意見交換や交流で会場は盛り上がりしました。

懇親会後の塾長を囲む放談会では、スペシャルゲストとして官僚の方にお越し頂き、日本が抱える課題とその解決策に関する大所高所からのお話塾生も熱心に聞き入り、熱い議論が深夜まで続きました。



【特別ゲスト 小池氏】



懇親会風景



放談会風景